

父が約束されたもの

ルカによる福音 24:46-53

（そのとき、イエスは弟子たちに言われた。）「聖書には次のように書いてある。『メシアは苦しみを受け、三日目に死者の中から復活する。また、罪の赦しを得させる悔い改めが、その名によってあらゆる国の人々に宣べ伝えられる』と。エルサレムから始めて、あなたがたはこれらのことの証人となる。わたしは、父が約束されたものをあなたがたに送る。高い所からの力に覆われるまでは、都にとどまっていなさい。」

イエスは、そこから彼らをベタニアの辺りまで連れて行き、手を上げて祝福された。そして、祝福しながら彼らを離れ、天に上げられた。彼らはイエスを伏し拝んだ後、大喜びでエルサレムに帰り、絶えず神殿の境内にいて、神をほめたたえていた。

説教

人間には「こころ」があります。やさしかったり、いじわるだったり、又ルっとしていたり、サラっとしていたり、丸かったり、角ばっていたり、公正だったり、偏見にみちていたり、良いこころ、普通なこころ、悪いこころ、人の数だけいろいろな「こころ」があります。ところで、「こころ」は見えるものかという見えません。人にはこころがあるというとき、それは心臓付近にあるものだと思う方や、やっぱり脳のどこかにあるのだろうと思う人がいたり、実のところどこにあるのかわかりません。

「こころのケア」ということばをときどき耳にしますが、どうやってやるのかと云われると「さて」どんなもんだらうと首をかしげるのが普通でしょう。歯みがきみたいに朝起きてやる習慣のようなものではないでしょうから、いまの世の中では「こころのケア」に関してはもっぱら専門家の出番になっています。

さて、イエスさまはこの件「こころのケア」に関してどうお考えになっているでしょう。

わたしは、父が約束されたものをあなたがたに送る。高い所からの力に覆われるまでは、都にとどまっていなさい。ルカ 24:49

エルサレムを離れず、前にわたしから聞いた、父の約束されたものを待ちなさい。ヨハネは水で洗礼を受けたが、あなたがたは間もなく聖霊による洗礼を授けられるからである。使徒言行録 1:4-5

「父から約束されたもの」「高いところからの力」「聖霊による洗礼」という表現、別の訳では「神からの力（本田神父訳）」を送ると云っておられています。イエスさまが父から約束されてものはキリスト教では「聖霊」と呼んでいます。わたしたちにとってわかりやすければイエス魂と受け取ってもいいかもしれません。このイエスさまの「たましい」「イエスこころ」はゆるすところであり、助け合うところであり、癒すところであり、これらはすべては神からの力によるものです。この「こころ」はこころですからとうぜん目には見えないものです。

ところで、わたしたちは重力があることを知っています。ものを落とせば落ちるので経験としてわかるし、学校で習ったことがあるので憶えていれば詳しい説明もできます。同じように「聖霊」があることも知ることができます。なにか不思議な良いちからに救われたという経験をとおして知る方もいるでしょうし、聖書をとおして教わることで知ることもできます。目には見えなから重力がないわけではなく、同じように「聖霊」も目には見えなからといってないわけではありません。重力は星に働く力として存在します。同じような言い方をすれば、聖霊はひとの「こころ」に働く力としてあります。イエスさまの生涯のさいごに「父から約束されたもの、高いところからの力、神からの力」聖霊をわたしたちに送られました。弟子たちがその証人として福音書をとおして今のわたしたちに伝えています。「主の昇天」の記念日に

イエスさまからの大切な贈り物「聖霊」を一人ひとりのこころの中に受けとめることができますように。
